アフターサービスについて

保証書

●この商品には保証書を別途添付しております。
●保証書は販売店でお渡しいたしますから所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間

●保証期間は、お買い上げ日より１年間です。モーターは５年間です。
（保証書裏面に記載の条件により、保証期間中でも有料修理となる場合があります。）
●保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理を受付いたします。
その他の詳細は、保証書をご覧ください。
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
●修理を依頼されるときは故障かな？とおもったら（29～31ページ）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

補修用性能部品の保有期間

●当社は、この電動ハイブリッド自転車の機能を維持するために必要な補修用性能部品を製造打ち切り後、６年保有しています。

アフターサービスについてご不明の場合

●お買い上げの販売店か、もよりの当社「お客さまご相談窓口」（下記）にお問い合わせください。
●日常の点検および修理は、お買い上げの販売店にお申しつけください。

お客さまメモ

お買い上げ年月日

年　　月　　日

お買い上げ店名

電話（　　　）　－

もよりの当社ご相談窓口

電話（　　　）　－

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…　家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 ＜三洋電機株式会社 お客さまセンター＞

受付時間：（365日）9:00～18:30　総合相談窓口　050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は**大阪（06）-6994-9570**におかけください。
※郵便またはFAXでご相談される場合　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
三洋電機株式会社お客さまセンター　FAX：大阪（06）-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30（7月～8月）8:45～19:30　土曜･日曜･祝日･当社休日 9:00～17:30

修理相談窓口				
東京コールセンター（050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください）		大阪コールセンター（050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください）		
北海道地区	050-3116-2333	近畿地区		050-3116-2555
		中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
東北地区	050-3116-2444		中部	050-3116-2666 沼津地区は 050-3116-2222
		中国・四国地区	中国	050-3116-2777
関東・甲信越地区	050-3116-2222		四国	050-3116-2555
		九州地区		050-3116-2888

沖縄地区
098-944-5018

（※）沖縄地区の受付時間：
月曜日～土曜日9:00～17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間 ：月曜日～土曜日　9:00 ～ 17:30（日曜、祝日、当社休日を除く）
家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は弊社ホームページでご確認ください。

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。
< 利用目的 >
●お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
< 業務委託の場合 >
●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。
個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://jp.sanyo.com をご覧ください。

三洋電機株式会社
三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社　家電事業部
〒675-2332 兵庫県加西市鎮岩町１９４－４

7BK-6-P111-03500 0909-Ⓞ

取扱説明書

電動ハイブリッド自転車

品番 CY-SPJ220

このたびは電動ハイブリッド自転車をお買い上げいただき、ありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。とくに**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
お読みになったあとはいつでも取り出せるところに保証書、盗難補償制度のご案内、電動自転車事故通知書（ハガキ）とともに大切に保管してください。

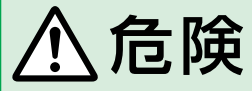
●盗難補償をお受けになるために添付の「電動自転車盗難補償制度登録票（ハガキ）」に必要事項を記入のうえ、必ずご投かんください。ご投かんされないと盗難補償の手続きができません。

もくじ　（ページ）

ご使用にあたってのご注意

電動ハイブリッド自転車は道路交通法において自転車ですので運転免許証は不要ですが、普通の自転車とは異なる部分があります。安全、快適にお乗りいただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。この取扱説明書と保証書は紛失しないよう大切に保管してください。
電動ハイブリッド自転車を他人に譲る場合は、次のお客さまのためにこの取扱説明書もお渡しください。

この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This bicycle is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

この商品にはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

●商品の仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容やイラストと実車が異なる場合がありますがご了承ください。

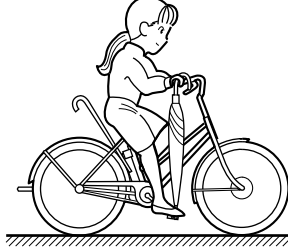
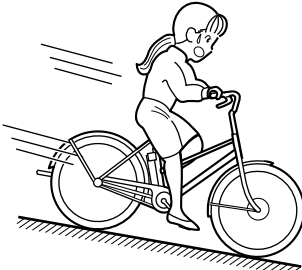
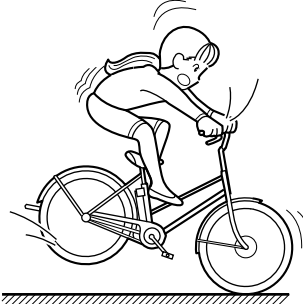
安全上のご注意（自転車） 必ずお守りください

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容。		人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。		

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

強制

毎回乗車前にガタ、ゆるみ、変形、ひび割れなどの異常がないか確認する。
異常がある状態で乗車すると事故や転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

異常がある場合は乗らない。
事故や転倒によるけがのおそれがあります。
- ガタ、ゆるみ、変形、ひび割れなどがある
- ブレーキがきかない
- 変速がきかない
- ブレーキワイヤー、変速ワイヤー、電線ケーブルに傷・破損がある
- タイヤがパンクしている
- ＬＥＤライトが点灯しない
- その他の異常がある

このような場合はただちに使用を中止し、販売店に点検・修理を依頼してください。

禁止

本体ジョイントやハンドルジョイントの開閉部に手や指を入れない。
手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

禁止

サドル、ハンドルの調整後、締め付けを確認せずに乗らない。
サドル、ハンドルが外れて転倒しけがをするおそれがあります。必ず調整後、乗る前に確認してください。

禁止

本体ジョイントやハンドルジョイントの開閉部に、ブレーキワイヤー、変速ワイヤー、電線ケーブルをはさまない。
破損して正常に機能しなくなったり、感電するおそれがあります。

分解禁止

改造はしない。また、モーターユニット、クランクセンサの分解や注油もしない。
部品が損傷したり、外れて転倒によるけがのおそれがあります。修理や部品の組み付けは販売店にご相談ください。
また、補助輪の取り付けを行わないでください。

禁止

荷物を手やハンドルに引っかけたり、ペットをつないで乗らない。
荷物が車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

サドルやハンドルは引き上げ限界線が見える状態で乗らない。
サドルやハンドルの折れや抜けにより衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

⚠警告

禁止

滑りやすい靴や、かかとの高い靴などをはいて乗らない。
足がペダルから外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

二人以上で乗らない。
ハブステップに乗るのは大変危険です。転倒や落車によるけがのおそれがあります。

禁止

飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調が悪いときは乗らない。
衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

滑りやすいところや、風の強いときは乗らない。（積雪、凍結した道、鉄板の上やぬかるみなど）
前輪や後輪がスリップして、転倒によるけがのおそれがあります。自転車から降りて、押して歩いてください。

禁止

走行中に手や足で前照灯の照射角度を調整しない。
前方不注意となり、衝突や転倒によるけがや、手足、靴などが車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
停車した状態で前照灯の角度を調整してください。

禁止

かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転で乗らない。また、携帯電話を使用しながら走行しない。
バランスがとりにくくなり転倒によるけがのおそれがあります。
雨の日はカッパなどの雨具を着用してください。

禁止

凸凹の激しいところで乗らない。（歩道の段差や、溝など）
フレームの損傷や車輪の損傷（パンク含む）が生じたり、転倒によるけがのおそれがあります。
この機種は車輪径が小さく、また車体下部に突出した部分（ハンガースタンド）があり、特に段差の影響を受けやすい構造です。
凸凹の激しいところでは自転車から降りて、押して歩いてください。

安全上のご注意（自転車）（つづき）必ずお守りください

⚠警告

禁止

乱暴（アクロバット的）な運転はしない。
フレームや車輪が損傷したり、転倒や落車によるけがのおそれがあります。

禁止

巻き込まれやすい服装で乗らない。
スラックスの裾や長いスカート、マフラーなどが車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。
※ズボンクリップの使用をお奨めします。

禁止

かさやステッキ、釣りざおなどを下げたり、差し込んだりして乗らない。また、スポークの間にボールなどを挟まない。
車輪がロックして転倒するおそれがあります。

禁止

カーブを曲がる側のペダルを下げない。
ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。また、スピードを出したまま急カーブを曲がらないでください。スリップや転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

下り坂や雨の日、ぬれた路面ではスピードを出し過ぎない。
スリップしたり、ブレーキの性能が低下し制動距離が長くなり、転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

前ブレーキだけのブレーキ操作はしない。
転倒によるけがのおそれがあります。

強制

自動車の横を走行するときは安全を確認する。
駐車や、停車中の車が急にドアを開けたり、車の陰から人や動物が出てくることがあり、事故のおそれがあります。

強制

雷が鳴り出したら、すみやかに落雷を回避できる場所へ避難する。
落雷により感電するおそれがあります。

⚠警告

禁止

未組立や未調整の自転車に乗らない。
調整不足のため転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

禁止

スピードを出し過ぎた状態で急ハンドルをきったり、急カーブを曲がらない。
スリップをしたり、転倒によるけがのおそれがあります。十分減速してハンドル操作を行なってください。

強制

前後ブレーキ動作やハンドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検を行う。
ブレーキ動作の異常や各部のゆるみがあれば転倒によるけがのおそれがあります。
また、タイヤの空気圧が適正でないとパンクや、リムが破損し、転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

視界の悪いときは、無灯火で乗らない。（夜間やトンネル内や霧など）
見通しが悪くなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。また、自動車から見えにくくなりますので危険です。
前照灯がつかないときやリフレクタが破損したり汚れている場合は、押して歩いてください。

禁止

ハブステップなど歩行者に危害を及ぼすおそれのある突起物を取り付けない。
走行時に歩行者に接触し、けがをさせるおそれがあります。
また、突起物が引っかかり転倒し、けがをするおそれがあります。

禁止

けり乗りはしない。
転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。必ずサドルにまたがってから発進してください。

＊**けり乗りとは**
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗りかたです。

接触禁止

回転している部分には手や足、物を近づけない。（車輪、チェーンなど）
巻き込まれてけがをするおそれや、転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

下り坂ではブレーキをかけっぱなしにしない。
ブレーキシューが過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。
ブレーキは小刻みにかけてください。

禁止

ブレーキシュー、タイヤ、リムには注油しない。
ブレーキが効かなくなり、衝突によるけがのおそれがあります。

接触禁止

走行直後はモーターユニットが高温になる場合があるので手を触れない。
やけどをするおそれがあります。

禁止

自転車の走行以外の目的では使用しない。（腰かけや踏み台の代わりなど）
転倒によるけがのおそれがあります。
また、スタンドを立てたままでペダルを強く踏み込まないでください。
前輪駆動の特性で発進しようとする場合があります。

強制

児童（13才未満の者）が乗るときは必ず自転車用ヘルメットを着用させる。

禁止

幼児を乗せない。
転倒によるけがのおそれがあります。

強制

交換部品は必ず純正部品を使用すること。
市販品を使用すると事故や故障の原因になります。

禁止

走行中は電源スイッチやアシストモード切替スイッチ、ライト入/切スイッチの操作をしない。
前方不注意となり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。必ず停車した状態で操作してください。

安全上のご注意(自転車)(つづき)必ずお守りください

⚠警告

強制

走行中に異音が発生したり、自転車が転倒したり、水に浸かってしまったなどの異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店で点検、整備を行なう。
そのまま使用を続けると事故や故障の原因になります。

水ぬれ禁止

水洗いはしない。
浸水によって電気部品および配線の絶縁が劣化し、漏電など故障の原因になります。雨天走行で水にぬれたときは乾いた布で拭き取ってください。

禁止

走行中は、充電(回生充電)表示や残量表示ランプ等を注視しない。
表示に気をとられ前方不注意となり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

禁止

不安定な場所に自転車を保管しない。
風などで自転車が倒れることがあります。普通の自転車に比べて車体が若干重いため、起こすときの負担が大きくなります。

禁止

前箱錠を付けない。
箱錠がずれ落ち車輪にはさまるおそれがあります。

強制

バッテリーを本体からはずすときや、持ち運びするときは、バッテリーハンドルを持つ。
バッテリーはかなりの重さがありますのでバッテリーが落ちて、足などにけがをするおそれがあります。

強制

1年毎および異常を感じたときは販売店で自転車安全整備士、自転車技師またはそれと同等の技能を有する者により点検を受ける。また部品の交換は、下記の目安で行なう。
ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

- ブレーキワイヤは、異常がなくても2年に1回は交換してください。
- ブレーキレバーの遊びが大きいものはすぐに販売店で点検してください。ブレーキがきかないおそれがあり危険です。
- チェーンのたるみが大きいものはすぐに販売店で調整をしてください。走行時にチェーンが外れるおそれがあり危険です。
- タイヤは、接地面(トレッド)の溝がなくなる前に交換してください。
- ブレーキゴムは、溝の残りが、1㎜になる前に交換してください。

⚠注意

強制

決められた箇所に少量の潤滑油を注油する。
多すぎるとホコリを付着させ、故障の原因になりますのでご注意ください。

禁止

折りたたんだ状態で座ったり、もたれかからない。
ハンガースタンドが破損したり、転倒してけがをするおそれがあります。

禁止

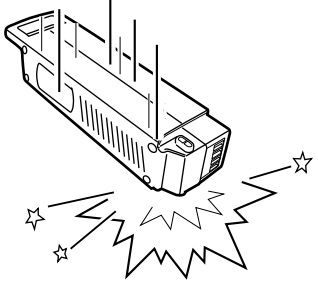
折りたたんだ車体は不安定な場所に置かない。
車体が倒れて破損したり、体に当たってけがをするおそれがあります。

強制

発進時・駐輪時はハンドルの傾きに注意する。
前輪が一般の自転車に比べ少し重くなっているのでバランスを崩し転倒するおそれがあります。発進時はハンドルを真直ぐにしてください。ハンドルが横向きのままペダルを強く踏み込むと、前輪駆動の特性によりバランスを崩すおそれがあります。

禁止

小径車は直進安定性が低いため、スピードを出し過ぎない。
小径車は軽快車と比べ車輪径を小さく設計してありますので、直進安定性が劣ります。特に坂道を下る場合、小刻みにブレーキをかけて十分減速して運転してください。

安全上のご注意(バッテリー、充電器)

⚠危険

禁止

バッテリーを火中に入れたり、加熱させたりしない。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

分解禁止

バッテリーの分解、改造はしない。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

充電器のケース、コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

強制

バッテリーの液が目に入ったときは、こすらずに、きれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
失明のおそれがあります。

強制

電源は交流100V専用のコンセントを使用する。
火災、感電の原因になります。

禁止

電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。
感電することがあります。

禁止

バッテリーの電源端子を金属などでショートさせない。
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

専用のバッテリーのため指定以外の機種に接続しない。またその他の用途に使用しない。
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

強制

バッテリーを充電する場合は専用の充電器を使用する。
他の充電器を使用すると発火、異常発熱、故障のおそれがあります。

分解禁止

充電器の分解、端子間のショート、改造はしない。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

禁止

充電器は専用電池(バッテリー)以外の充電には使用しない。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

強制

充電器は水平な面に置いて充電する。
傾いた所で充電すると、バッテリーが転倒しけがのおそれがあります。

安全上のご注意(バッテリー、充電器)(つづき)

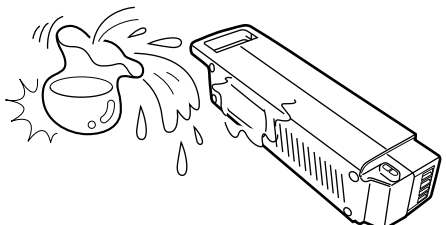
必ずお守りください

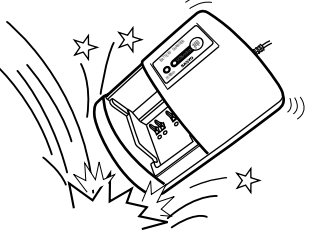
⚠警告

禁止

バッテリーを落下させたり衝撃を与えるなど乱暴な取扱いをしない。
ケースの破損、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

バッテリーケースやバッテリーハンドルが破損したバッテリーは使用しない。
液漏れ、異常発熱、破裂、バッテリーを落したりする原因になります。

禁止

幼児の手の届くところでは充電しない。
感電やけがの原因になります。

水ぬれ禁止

バッテリーに水や海水をかけたり、水中に入れない。
ショート、異常発熱で使用できなくなります。
雨に濡れたときは、そのまま放置せずに、乾いた布で水滴をふき取ってください。

禁止

充電器を落下させたり衝撃を与えたりしない。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室など湿気の多いところや、屋外で雨にぬれるところなどでは充電しない。
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

⚠警告

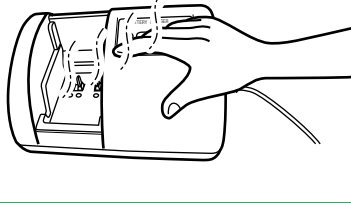
禁止

延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない。
感電・異常発熱・火災のおそれがあります。

禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
コードが破損し、感電・火災の原因になります。

強制

バッテリーの液が皮膚や衣類に付着したときは、直ちにきれいな水で洗い流す。
皮膚に障害を起こすおそれがあります。

禁止

バッテリーを閉めきった倉庫や、自動車内など、高温になる場所に保管、または長時間放置しない。

⚠注意

禁止

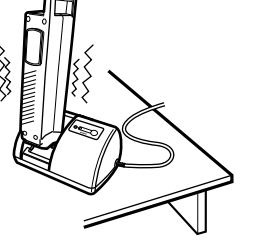
充電中やリフレッシュ中は、充電器に長時間触れない。
ケースの温度が40℃~60℃になる場合があり、低温やけどのおそれがあります。

電源プラグを抜く

充電しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

強制

電源コードがドアやサッシなどに挟まれないよう取り扱いには十分に注意する。
コードを傷つけ感電や発火のおそれがあります。

強制

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜く。
感電、ショート、発火の原因になります。

強制

電源プラグにゴミや土、油が付着しないように注意する。
感電や発火のおそれがあります。

強制

充電器にバッテリーをしっかりと奥まで差し込む。
差し込みがゆるいとバッテリーが転倒しけがのおそれがあります。

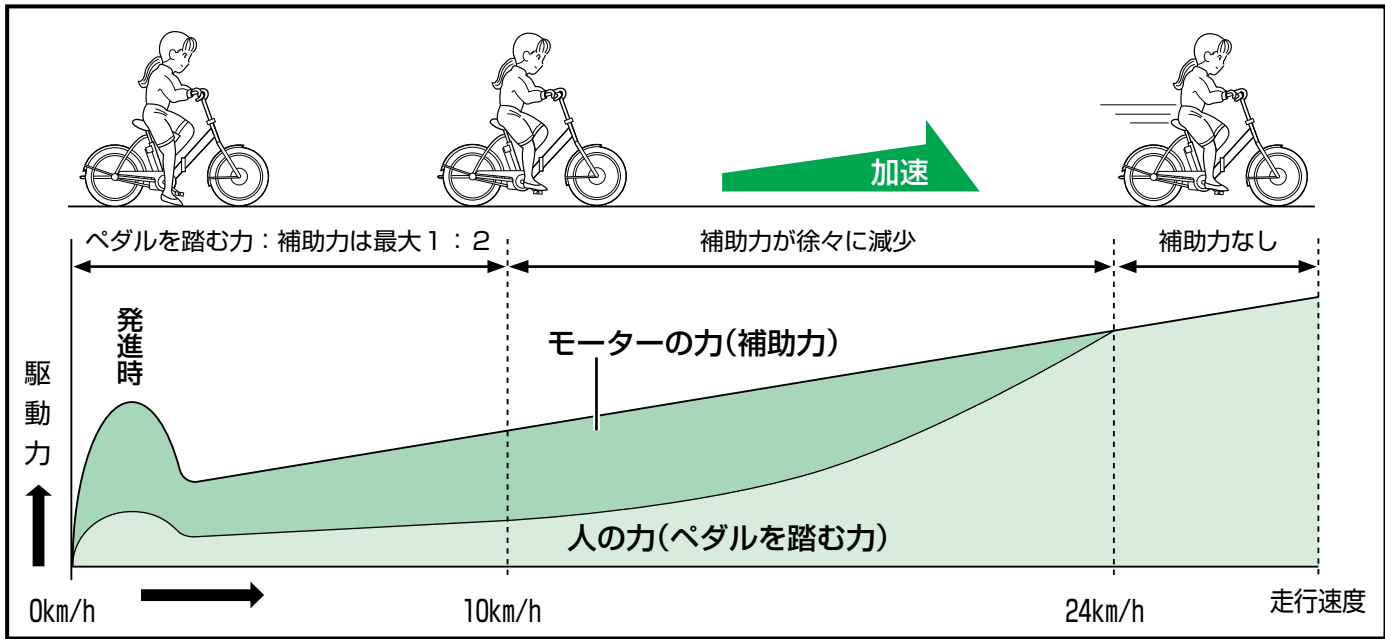
禁止

バッテリーを充電器に取り付けたまま持ち上げない。
充電器がはずれて落下しケガをするおそれがあります。

電動ハイブリッド自転車について

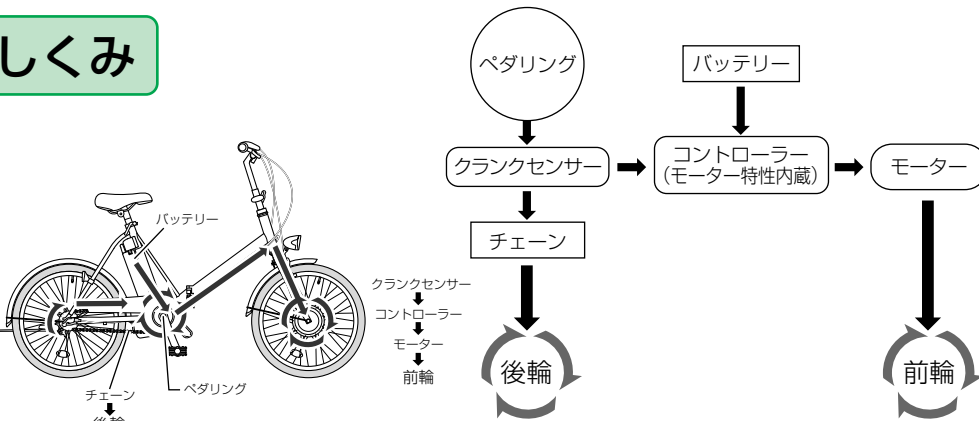
電動自転車は普通の自転車とは違った、ペダルアシスト付きの自転車です。
電動自転車についての正しい知識を身につけましょう。

ペダルアシストとは

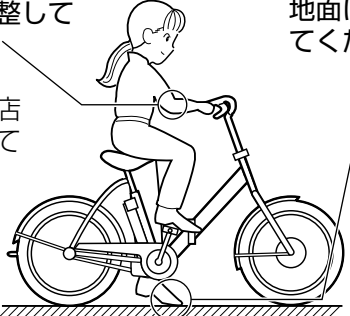
人がペダルを踏む力に応じて、前輪にモーターの補助力を加え走行を助ける機能です。

下記のようなときはペダルアシストが働きません

- **速度が24km/h以上のとき**
  ※速度が24km/h以下でも平地などのペダルの負荷が少ない道路では、ペダルアシストが働かない場合があります。
- **ペダルの回転を止めているとき**
- **バッテリー残量がなくなったとき**
  ※バッテリー残量がなくなるとペダルアシストは働きませんが、普通の自転車として走行できます。
- **後ブレーキをかけているとき**

ペダルアシストのしくみ

人がペダルを踏み込む力を「クランクセンサー」が検出し、コントローラーに入力します。コントローラーのマイコンがトルクデータと、あらかじめ記憶しているモーター特性のデータから必要なモーター出力を算出して信号を送り、モーターが補助力を発生させるしくみです。

走行できる距離の目安

走行条件（走行パターン③以外はアシストモード「標準」）	1回の充電で走行できる距離
①市街地走行パターン　下図の条件で、200m毎に発進・停止を繰り返した場合（こう配2度 1km、1km、5km、③15km/h、②10km/h、③15km/h、③20km/h（ブレーキ充電無）、③15km/h）変速機のシフト位置 2 3	約16km　ブレーキ充電 無
②業界統一パターン　下図の条件で、1km毎に発進・停止を繰り返した場合（こう配2度 1km、1km、5km、③15km/h、②10km/h、③15km/h、③20km/h（ブレーキ充電無）、③15km/h）変速機のシフト位置 2 3	約28km　ブレーキ充電 無 約36km　ブレーキ充電 有（下り坂の速度：10km/h）
③「オート」での走行パターン　下図の条件で、1km毎に発進・停止を繰り返した場合（こう配2度 1km、1km、5km、③15km/h、②10km/h、③15km/h、③10km/h（オート充電）、③15km/h）変速機のシフト位置 2 3	約46km（下り坂の速度：10km/h）
④平たん路　平たん路を連続走行した場合（速度15km/h）変速機のシフト位置 3	約40km
⑤ゆるい上り坂　こう配2度のゆるい上り坂を連続走行した場合（速度10km/h）変速機のシフト位置 2	約10km
⑥きつい上り坂　こう配4度のきつい上り坂を連続走行した場合（速度7km/h）変速機のシフト位置 1	約3.6km
⑦ゆるい坂の上り下り　こう配2度のゆるい坂を連続して上り下りした場合（1km、1km、2km、10km/h、10km/h（ブレーキ充電））変速機のシフト位置 2	約20km　ブレーキ充電 無 約30km　ブレーキ充電 有

条件：バッテリー新品、温度20℃、無風状態、前照灯消灯、車載質量60kg（乗員および荷物を合計した質量）、タイヤ側面に記載の空気圧

※走りかた、道路状況、気候などにより1回の充電で走行できる距離は異なります。
特に整備状態（タイヤの空気圧など）、積載質量の増加や上り坂が多い場合は、走行できる距離が短くなります。
※バッテリーの特性上、冬期は走行できる距離が短くなります。
※バッテリーの特性上、充電回数の増加に従い、1回の充電で走行できる距離が短くなります。
※走行距離はあくまでも目安で、1回の充電による走行距離を保証するものではありません。

各部のなまえ

手元スイッチ部

残量表示ランプ 17
アシストモードランプ 19
ライト入/切スイッチ 20
残量/充電中　オート 標準 パワーアップ
電源入/切　モード切替　ライト入/切
電源スイッチ
アシストモード切替スイッチ 19

ハンドル部

後ブレーキレバー
オールラウンダーハンドル
前ブレーキレバー
グリップ
ベル
変速グリップ 19
ブレーキワイヤー

バッテリー取りはずしキーシリンダー 23
キー
予備キー（2本）
バッテリー はずす

マークの数字は掲載ページを示しています。

お願い
バッテリー装着後は必ずキーを抜いてください。自転車の走行中にはずれると紛失する可能性があります。

サドル 13
シートピン
バッテリー 26
品番：CY-PH31
TSマーク
BAA（自転車協会認証）マーク
フレーム
ハンドルジョイント
車体番号 32
LEDライト（前照灯） 20
ブレーキシュー
前フォーク
スポーク
リム
タイヤ
リアリフレクタ（後部反射器）
調整ねじ（変速機）
ホイールリフレクタ（反射器）
チェーン
型式認定番号・品番
ペダル
本体ジョイント
クランクセンサ（踏力センサ）
ハンガースタンド
ホイールリフレクタ（反射器）
ダイナモーター（モーターユニット）

お願い
型式認定番号は法律上､普通自転車として認められたことを証明するものです｡はがさないでください。

お願い
バッテリー交換時期の目安確認のために、ケース側面の記入欄に油性ペンで販売店名・お買上日をご記入ください。

アドバイス
スピードメータは取付できないものがありますので、特に以下の点に注意してお求めください。
- スポークサイズ（#13）に適応しているか
- 電動ハイブリッド自転車の前フォークとスポークの間隔に適応しているか

付属品

充電器
品番：CY-PAA4

ワイヤー錠 22

車体固定バンド 12

オプション（別売）

車体カバー
品番：CY-JSC1

組み立てかた、折りたたみかた

組み立てかた

車体を開きます。

ジョイント部が確実に閉じていることを確認してください。

①ジョイントの溝部にレバーの凸部をはめ込みます。
②レバーを下ろして確実に固定します。

ハンドルを立てます。

ハンドル固定ネジを締めて固定します。

レバーの固定力がゆるすぎる、または固すぎる時は、調整ナットをボックスレンチ等で調整してください。

⚠警告

- **本体ジョイントやハンドルジョイントの開閉部に手や指を入れない。**
  手や指をはさんでけがをするおそれがあります。
- **本体ジョイントやハンドルジョイントの開閉部に、ブレーキワイヤー、変速ワイヤー、電線ケーブルをはさまない。**
  破損して正常に機能しなくなったり、感電するおそれがあります。

本体ジョイント　ハンドルジョイント

折りたたみかた

ハンドル固定ネジをゆるめ、ハンドルを折りたたみます。

①レバーを引き上げます。
②ジョイントの溝部からレバーの凸部を外します。

レバーを持ちシャフト部を引き上げながら、ジョイント部を開いてください。

スタンドをあげ、ペダルを図のような位置にします。

車体をたたみ、車体固定バンドでハンドル、車体前部、車体後部を固定します。

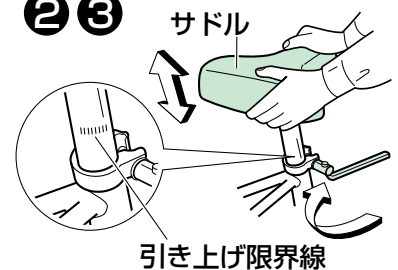
⚠注意

- **折りたたんだ状態で座ったり、もたれかからない。**
  ハンガースタンドが破損したり、転倒してけがをするおそれがあります。
- **折りたたんだ車体は不安定な場所に置かない。**
  車体が倒れて破損したり、体に当たってけがをするおそれがあります。

お乗りになる前に

正しい姿勢、正しい服装で乗りましょう

安全に乗車していただくため、下図のような姿勢になる位置にハンドルとサドルを調整してください。

適応身長の目安
１４５cm以上

動きやすく、運転しやすい服装で自転車に乗ってください。

⚠警告 児童(13才未満の者)が乗るときは、必ず自転車用ヘルメットを着用させる。

アドバイス

- 自転車用ヘルメットを着用してください。ヘルメットは頭部の保護のために有効です。
- すその広いズボンはズボンバンドで止めて、巻き込み、汚れを防止してください。

サドルの高さ調整

❶ シートピンを約２～３回転ゆるめます。

お願い
シートポストを傷付けないよう、シートピンを十分ゆるめて高さ調整を行なってください。

❷ サドルを上下に動かして高さを調整し、サドルを持ってシートピンを締め付けます。

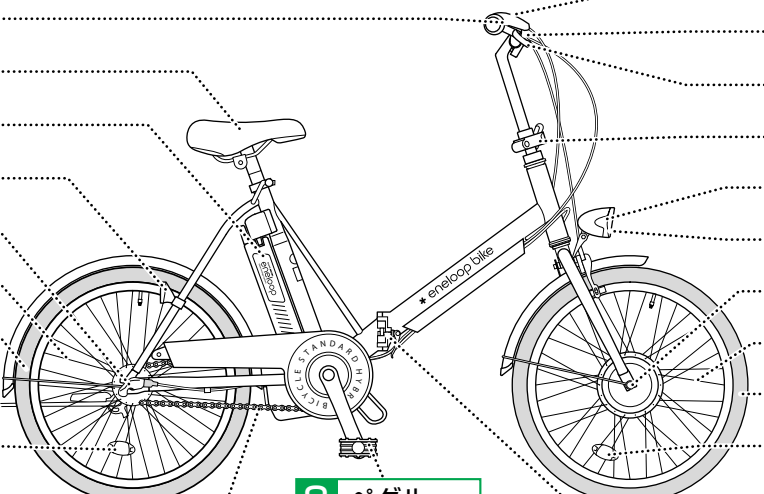
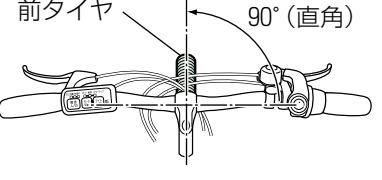
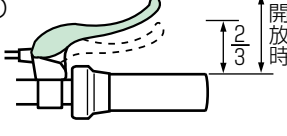
❸ サドルを上下左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。

❹ 締め付け後、シートピンが乗車時に引っかからない位置に収納してください。

乗車時に引っかからない位置に収納してください。

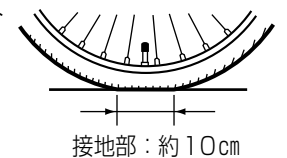
⚠警告
サドルやハンドルは引き上げ限界線が見える状態で乗らない。
サドルやハンドルの折れや抜けにより衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

乗車前の点検

安全に乗車していただくため、乗車前に下記の点検を実施する習慣をつけましょう。

1 ハンドルのがたつき
ハンドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。
また、ハンドルが前タイヤと90°(直角)になっているか点検します。

2 前後ブレーキレバーの握りしろ
ブレーキレバーが開放時の約2/3の位置でブレーキが効き始めることを点検します。

3 LEDライトの点灯
汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。
LEDライトが点灯するか点検します。

4 ホイールリフレクタの汚れ、損傷
汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。

5 前後車軸の固定状態
タイヤをゆすり、車軸にがたつきがないか点検します。

6 前後タイヤの空気圧、摩耗、損傷
自転車に乗車したとき、タイヤの接地部の長さが約10cmになれば適正です。また、摩耗していないかタイヤに釘などがささっていないか点検します。
空気圧が減少しているとアシスト走行距離に大きく影響します。

標準空気圧
280kPa（2.8kgf/cm²）

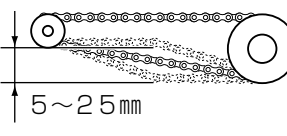
タイヤ側面にも記載

接地部：約10cm

7 スポークのがたつき、損傷
スポークにがたつきや損傷がないか点検します。

8 ペダルのがたつき
ペダルをゆすり、がたつきがないか点検します。

9 スタンドのがたつき
スタンドをゆすり、がたつきがないか点検します。

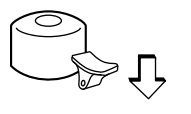
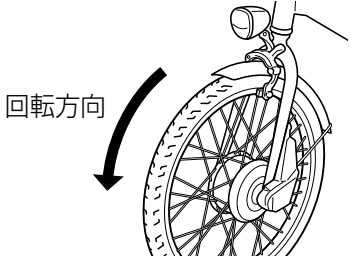
10 ハンドルジョイントのがたつき、損傷
ハンドルジョイントにガタつきや損傷がないか点検します。

11 本体ジョイントのがたつき、損傷
本体ジョイントにガタつきや損傷がないか点検します。

12 チェーンの張り具合
チェーンの中央部を持って上下に動かし、その差が5～25㎜あれば適正です。

5～25㎜

13 フロント、リアリフレクタの汚れ、損傷
汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。

14 バッテリーの取付状態
確実に取り付けられていることを点検します。

15 サドルのがたつき
サドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。

16 変速機の作動
変速グリップを回してシフト位置が1～3の表示位置に移動できるか点検します。

17 ベルの鳴り具合
ベルのノブを指ではじいてベルが鳴るか点検します。

点検、転倒などで異常があった場合は使用をやめてお買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ
タイヤのブロックパターンには方向があります。工場出荷時は下図のようになっています。

お願い
- 使用開始後２ヶ月以内に販売店で自転車安全整備士、自転車技師またはそれと同等の技能を有する者により点検を受けてください。

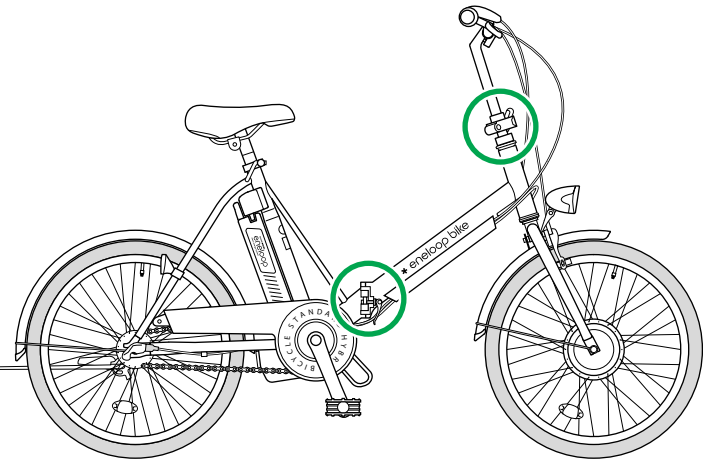
お乗りになる前に（つづき）

道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。

乗りかた

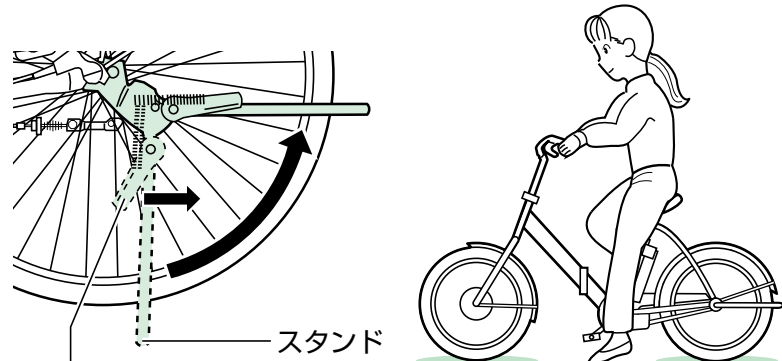
発進のしかた

1 ジョイントがしっかり固定されていることを確認します。

ハンドルジョイントと本体ジョイントが固く締められていることを確認してください。
緩いときは締め直してください。

⚠警告

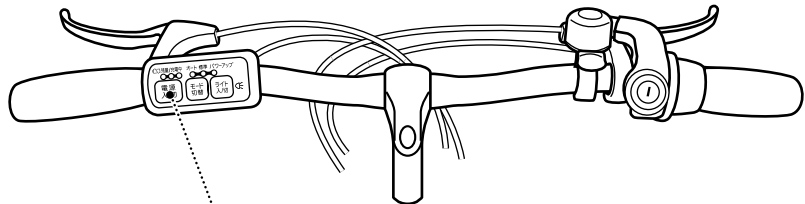
毎回乗車前にガタ、ゆるみ、ひび割れなどの異常がないか確認する。
異常がある状態で乗車すると事故や転倒によるけがのおそれがあります。

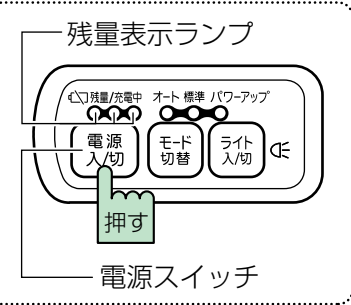
2 スタンドをあげてサドルにまたがります。

ロックレバーを後方に押しあげてから、スタンドをあげてください。

⚠警告

けり乗りはしない。
転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。必ずサドルにまたがってから発進してください。
＊けり乗りとは
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗りかたです。

3 ペダルを踏まずに電源スイッチを押し、電源を「入」にします。

残量表示ランプが点灯します。

お知らせ

ペダルを踏みながら電源スイッチを入れると、残量ランプの右側の１灯が点滅して、ペダルアシストが働かない場合があります。
これは急発進を防止するための機能であり、異常ではありません。
この場合は、ペダルを踏まないで、もう一度電源スイッチを入れ直してください。

4 残量表示ランプの表示状況を確認します。

残量表示ランプは下表のようにバッテリー残量の目安を5段階で表示します。

残量表示ランプの表示状況を確認し、必要なら充電してください。

バッテリー残量（空〜満）	残量表示ランプの表示状況	目　安
約100%〜70%	残量／充電中 ●●●（LEDランプ3つとも点灯）	ペダルアシスト走行できます。
約70%〜40%	残量／充電中 ●●○（LEDランプ2つ点灯）	
約40%〜10%	残量／充電中 ●○○（LEDランプ1つ点灯）	
約10%〜3%	残量／充電中 ●○○（LEDランプ遅い点滅）	そろそろ充電しましょう。 バッテリー残量が残りわずかな状態です。
約3%〜0%	残量／充電中 ●○○（LEDランプ速い点滅）	充電してください。 ペダルアシスト走行できない状態です。 ペダルアシスト走行はできませんが普通の自転車として走行できます。

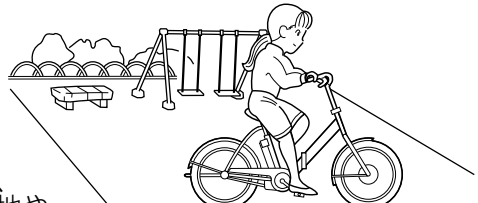
※残量表示ランプが消灯していく間隔は、バッテリーの状態、走りかた、道路状況などにより異なります。

お願い お客様が実際に走行される条件と残量表示ランプの表示状況を確認し、ペダルアシスト走行できる距離の目安にしてください。
「残量表示がずれているのでは？」と感じた場合は、リフレッシュ充電を行ってください。

5 安全を確認して発進します。

前後左右の安全を確認してから、しっかりとハンドルを握り、ペダルを踏み込み発進します。
ペダルを踏み込むとペダルアシストが働きます。
※走行中はペダルアシストの作動音がしますが、異常ではありません。

お願い

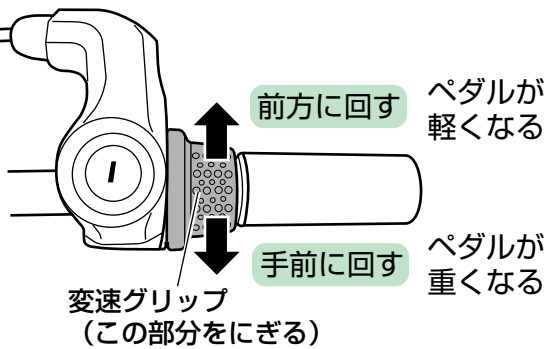
- 電動ハイブリッド自転車はペダルを踏み込むと、力強く発進しようとしますので、ご注意ください。
（停車中は、ブレーキをかけてください。）
坂道の手前では、ブレーキの効き具合を確認ください。
また、急な坂道では安全のため、降りて押してください。
- 電動ハイブリッド自転車は普通の自転車に比べ若干重いため、バランスを崩し転倒によるけがのおそれがありますので、空地や人がいない安全な場所でよく練習してから一般道路を走行してください。
- 走行時に前輪のダイナモーターから若干ギア音が発生することがありますが異常ではありません。
- お客様が実際に走行される条件と残量表示ランプの表示状況を確認し、ペダルアシスト走行できる距離を把握してください。

⚠注意

発進時・駐輪時はハンドルの傾きに注意する。
前輪が一般の自転車に比べ少し重くなっているのでバランスを崩し転倒するおそれがあります。
発進時はハンドルを真直ぐにしてください。ハンドルが横向きのままペダルを強く踏み込むと、前輪駆動の特性によりバランスを崩すおそれがあります。

乗りかた(つづき)

変速機について

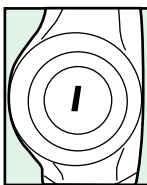
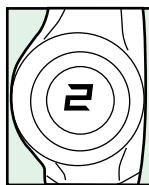
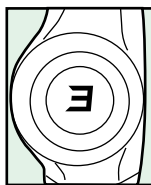
<変速のしかた>

● 変速グリップを回します。

お知らせ

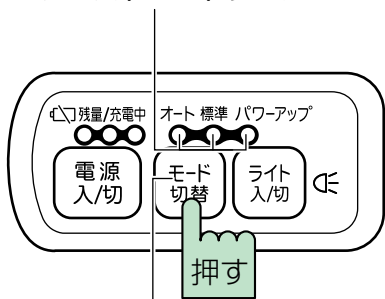
● 停車中でも変速できます。

お願い

変速操作は交通量の多くない安全な状況で、１段ずつ行なってください。

<設定位置について>

シフト位置 1	シフト位置 2	シフト位置 3
ペダルが軽くなります。上り坂などで使用してください。	普通に走行する位置です。平たんな場所やゆるやかな上り坂で使用してください。	ペダルが重くなります。スピードが出ます。見通しの良いまっすぐな場所で使用してください。

アシストモードについて

<アシストモードの切り替えかた>

● **モード切替スイッチを押します。**
押すたびにアシストモードが切り替わり、ランプで表示します。

お知らせ

● 設定位置は一般的な使用例ですので、道路状況や体調などに応じて設定位置を選択してください。

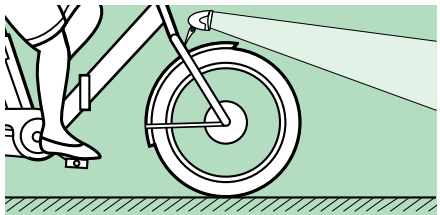
※電源を入れたときは「オート」にセットされています。

モード	説明
オート	「アシスト力」と「発電走行」（補充電）を快適かつ効率よく自動切替して走りたい場合におすすめ
	・勾配の緩急に応じて、人の力「1」に対してモーターの力が最大「2」の割合の補助力で走行します。 ・平地などでペダルを踏む力が少なくてもよい場合は、自動的にアシスト力を抑えて節電走行します。 ・上り坂では、道路の勾配に応じて、快適に登坂できるように自動的にアシスト力を調整します。 ・下り坂では、道路の勾配に応じて自動的にモーターブレーキをかけ、バッテリーに補充電します。
標 準	平地中心に一定のアシスト力で走りたい場合におすすめ
	・人の力「1」に対してモーターの力が最大「1」の割合の補助力で走行します。 ・広範囲にお使いいただける標準的なアシストモードです。
パワーアップ	上り基調のコースなど、力強いアシスト力で走りたい場合におすすめ
	・人の力「1」に対してモーターの力が最大「2」の割合の補助力で走行します。 ・「パワーアップ」は、「標準」よりもペダルを心地よく回せるようにアシスト力をアップしています。このため、上り坂など力強いアシスト力が必要なときはより楽に走行できますが、電力の消費量は多くなり、走行距離は短くなります。**(「標準」に対して約70～80%となります。)**

※「オート」での惰性走行時の自動モーターブレーキ(発電走行)は補助的なブレーキです。
最終的な減速度合は前後のブレーキレバーの操作により調整してください。

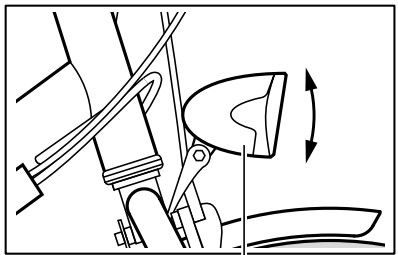
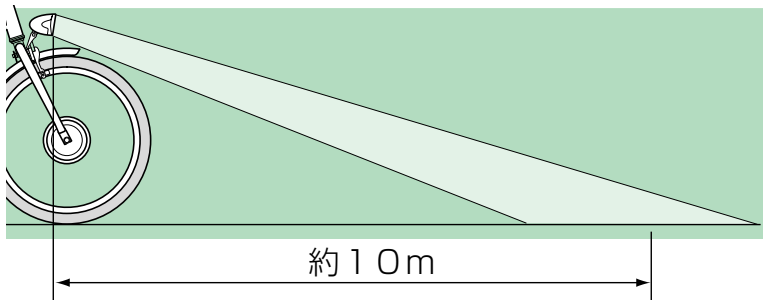
ＬＥＤライト（前照灯）について

<点灯のしかた>

● ライト入/切 スイッチを押すとＬＥＤライトが点灯・消灯状態に切替わります。
（電源スイッチ「入」時）

お知らせ

● ＬＥＤライトは電源スイッチが入っている時に点灯します。
● ペダルアシストしなくなって（残量表示ランプが速い点滅）から、約１５分間点灯します。
● 夜間にＬＥＤライトが消灯した場合は、自転車から降りて自転車を押してください。

<照射角度の調整>

自転車の前方約１０ｍの路面を照らすように調整してください。

ＬＥＤライトを矢印方向に動かして照射角度を調整

オートパワーオフについて

● 電源スイッチが「入」の状態で１０分以上放置しておくと、バッテリーの無駄な消費を防止するため、自動的に電源が切れます。（残量表示ランプが全て消灯）バッテリーライトも消灯します。

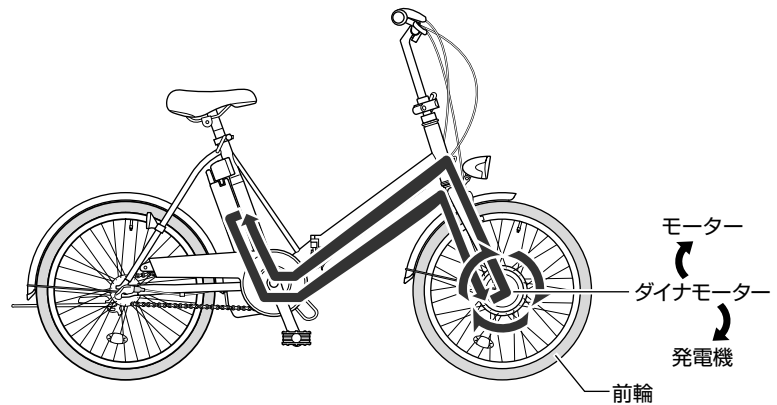
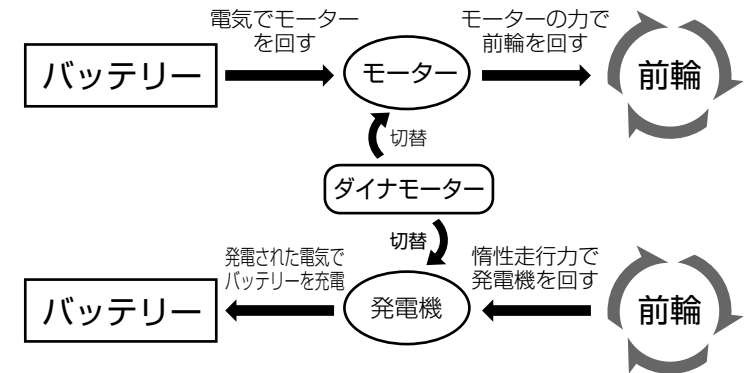
ブレーキ充電（回生充電）について

● ブレーキ充電とは、走行中に後ブレーキをかけることによってダイナモーターを発電機として働かせバッテリーを充電する機能です。ブレーキ充電中は電気式の制動力が発生します。

※低速（約8km/h以下）での後ブレーキ操作ではブレーキ充電が働きません。（機械式ブレーキは働きます）

※電源が「入」の時のみブレーキ充電を行います。

ブレーキ充電中はランプが左から右へ流れるように点滅します。

後ブレーキをかけてバッテリーを充電する。

アドバイス

● 効率的にブレーキ充電を行うためには、下り坂で後ブレーキを軽くかけて走行し、ブレーキ充電時間をなるべく長く取れるように、走行してください

※速度の出し過ぎには注意してください

お知らせ

● ブレーキ充電中やアシストモード「オート」の回生充電中に過充電になった場合は、電池への充電をとめるためブレーキ充電による制動力が働きません。（機械式ブレーキは働きます。）また、走行速度が約24km/h以上でもブレーキ充電が働かない設定としています。
● 急な上り坂を上ったあとなど電池内部の温度が高い時は、ブレーキ充電が働かない場合があります。
● ブレーキ充電中は前輪のモーターより音がし、若干前輪に制動がかかります。
● 停車する場合は必ず、機械式ブレーキをかけてください。（ブレーキ充電だけでは停止することができません。）

⚠ 警告

走行中は、ブレーキ充電（回生充電）表示や残量表示ランプ等を注視しない。
表示に気をとられ前方不注意となり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

停止、駐輪のしかた

1 自転車を停止させ、電源を切ってから自転車を降ります。

ブレーキのかけかた

後ブレーキをかけながら前ブレーキをかけてください。
※左側が後ブレーキ、右側が前ブレーキです。
※下り坂では、強くブレーキをかけっぱなしにしないで小刻みにかけてください。
※前ブレーキをかけたとき、コツコツと音がすることがありますが、性能上問題ありません。

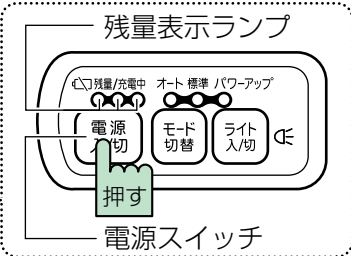
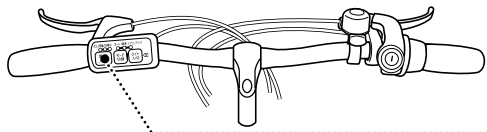
警告

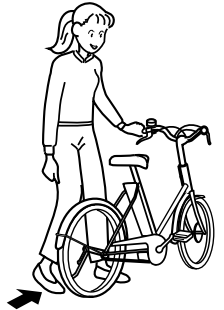
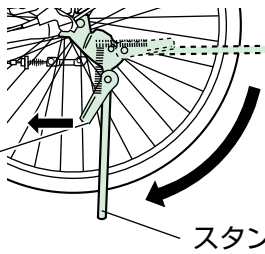
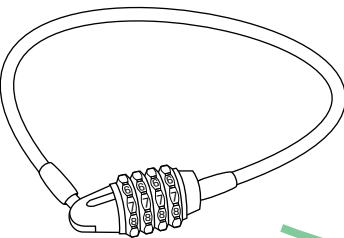
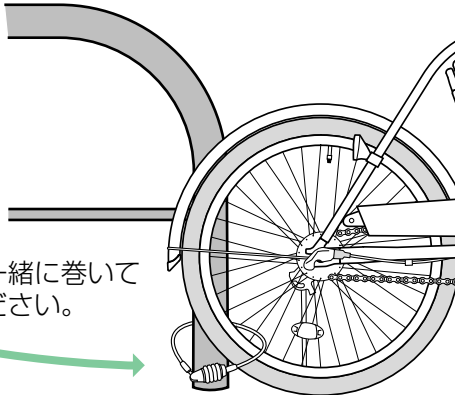
前ブレーキだけのブレーキ操作はしない。
転倒によるけがのおそれがあります。

お知らせ

● 後ブレーキをかけるとペダルアシストは自動的にOFFとなります。

電源の切りかた

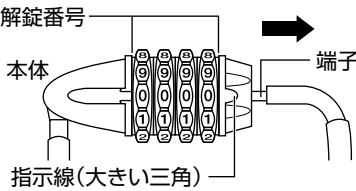
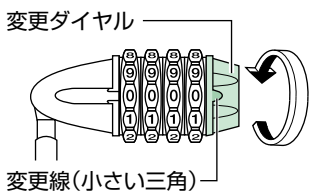
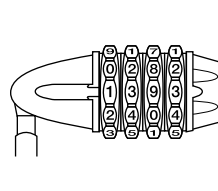
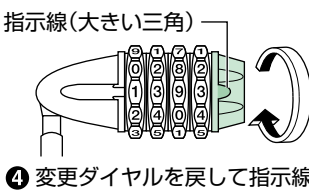
電源スイッチを押し、残量表示ランプが消えたことを確認します。

2 スタンドを立てます。

平たんで安定した場所を選んでスタンドを立てると、オートロックが働き、スタンドがロックされます。
前輪がふつうの自転車に比べ少し重くなっていますので駐輪時ハンドルの傾きに注意してください。

3 鍵をかけます。

※ワイヤー錠をご使用になる前に付属の説明書を必ずお読みください。

お願い

● 盗難防止のため必ず鍵をかけてください。
● 雨ざらしになるところには駐輪しないでください。

ダイヤルをお好きな４桁の番号にセットできます

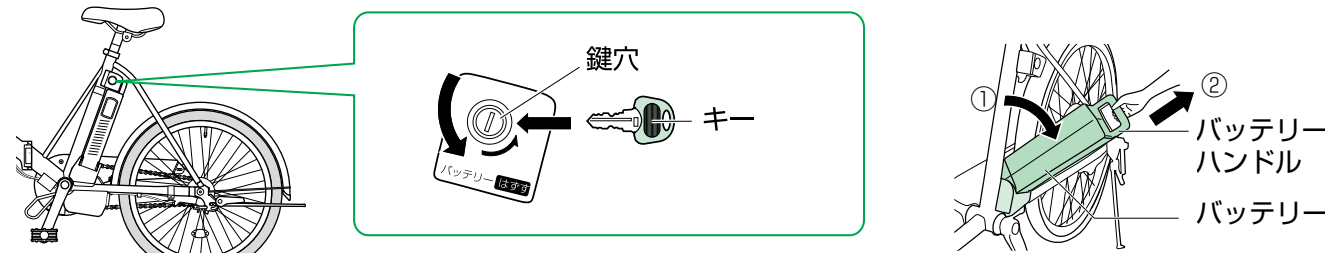
ナンバーセットの手順（セット例　1393の場合）

❶ 解錠番号を指示線（大きい三角）に合わせて矢印方向に端子を抜きます。（お買い上げ時は "0000" にセットされています。）

❷ 変更ダイヤルを矢印の方向に回し、変更線（小さい三角）に合わせます。

❸ 解錠番号をお好きな４桁の番号（例は1393）に合わせてください。

❹ 変更ダイヤルを戻して指示線（大きい三角）に合わせ、セット完了です。お忘れにならないように、番号を本書32ページに記入してください。

充電のしかた

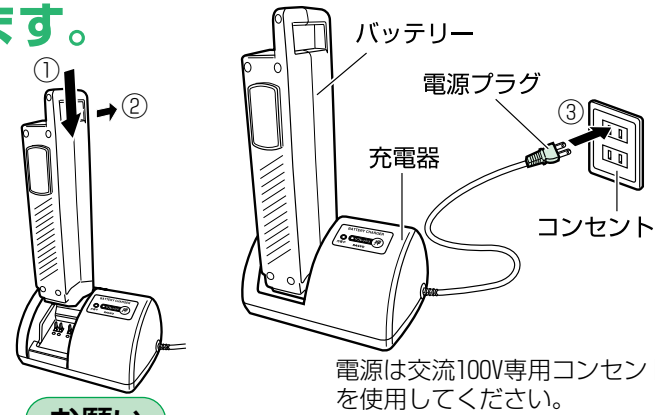
1 充電場所（下記の条件を満たすところ）を決めます。

●風通しがよく湿気の少ないところ
●平たんで安定のよいところ
●直射日光や雨つゆの当たらないところ
●周囲温度が0～40℃のところ
●水のかからないところ
●幼児やペットなどがいたずらをしないところ

2 バッテリーを取りはずします。

❶ キーをバッテリー取りはずしキーシリンダーに差し込み、矢印の方向に回しながらバッテリーハンドルを持ってバッテリーを取りはずします。

❷ キーを抜きます。

3 バッテリーを充電器に接続します。

❶垂直方向に差し込み、
❷後方に倒しながら奥まで押し込んでください。
（バッテリーを持ち上げてみて充電器も一緒に持ち上がれば、確実に装着されています。）
❸電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源は交流100V専用コンセントを使用してください。

バッテリーは図のように充電器にしっかりと奥まで差し込んで充電してください。

⚠危険 **充電器は水平な面に置いて充電する。** 傾いた所で充電すると、バッテリーが転倒しけがのおそれがあります。

⚠注意 **充電器にバッテリーをしっかりと奥まで差し込む。** 差し込みがゆるいとバッテリーが転倒し、けがのおそれがあります。また、充電器の赤ランプが点灯せず充電できない場合もあります。

お願い

•充電器の赤ランプが点灯すると充電を開始しますが、赤ランプが点滅する場合、充電器の差し込み不足の可能性がありますので一度バッテリーをはずして充電器へ差し込みなおしてください。
•テレビやラジオなどのＡＶ機器から離して充電してください。雑音が入ることがあります。

バッテリーの充電について

（1） バッテリーは工場出荷時、充電されていませんので、ご使用になる前に充電してください。長期保管される場合は満充電にしてください。また３ヵ月に一度充電して保管してください。
（2） バッテリーの状態や使用環境により、まれに充電できない、または正常に充電が完了しない場合があります。この場合は、一度充電器のコンセントを抜き、３分以上間をおいて充電してください。
（3） ●充電器にセットして充電完了しても、手元スイッチの残量ランプが3灯点灯しない。
●残量ランプが2灯または１灯点灯しているのに急にアシストが停止する。
以上の事象が発生することはまれですが、これらの場合実際の電池容量に対し、残量表示のズレが生じている可能性があります。この場合は満充電完了した後、一度バッテリーを充電器からはずし再度充電器にセットして、リフレッシュ充電を行ってください。

4 充電方法を選びます。

バッテリーの充電方法には普段に行なう「通常充電」と、完全放電と充電を自動的に行ないメモリー効果（📖26 参照）によるバッテリーの一時的な性能低下を回復させる「リフレッシュ充電」の２つの方法があります。バッテリーの状態に応じて充電方法を選んでください。

通常充電

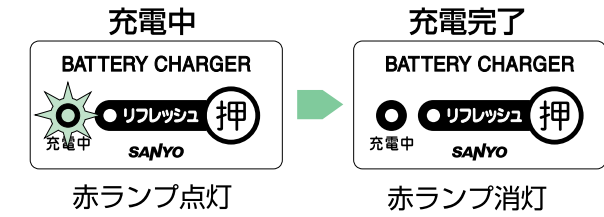
普段は「通常充電」を行なってください。

●赤ランプが点灯すると、充電を開始します。

充電中

赤ランプ点灯

充電完了

赤ランプ消灯

充電時間：

充電前のバッテリー状態や外気温などにより異なりますが、残量表示ランプが速い点滅を始めるまで乗ってから充電した場合**約２時間１５分**です。

※ご購入後初回の充電は充電時間が多少長くなることがあります。

アドバイス

●バッテリー残量が多いときは充電時間は短くなります。

リフレッシュ充電

リフレッシュ充電の目安
通常の使用……月１回
走行距離が著しく短くなった場合……数回（3～4回）

●赤ランプが点灯中に、リフレッシュボタンを押します。あとはリフレッシュ充電完了まで自動的に充電が行なわれます。

リフレッシュボタンを押す

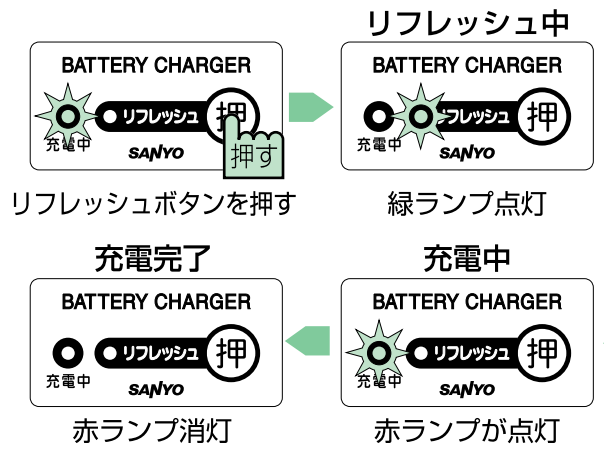
リフレッシュ中

緑ランプ点灯

充電中

赤ランプが点灯

充電完了

赤ランプ消灯

リフレッシュ充電時間：

充電前のバッテリー状態や外気温などにより異なりますが、
約２時間１５分～最長約１３時間１５分です。

リフレッシュ時間：最長約１１時間 / 充電時間：約２時間１５分
リフレッシュ開始 / 充電開始 / 充電完了

アドバイス

●バッテリー残量が多いときはリフレッシュ時間が長くなります。
●**リフレッシュ充電は時間の余裕があるときに行なってください。**

お願い リフレッシュ中にコンセントを抜き差ししたり、停電（約２秒以上）したときは停電復帰後、「通常充電」になります。リフレッシュができていませんので、もう一度リフレッシュボタンを押して「リフレッシュ充電」を行なってください。

お知らせ

●充電開始時や充電中に赤または緑ランプが遅い点滅（約０.５秒点灯、約１秒消灯）をしている場合、充電待機中です。バッテリーの温度が下がれば自動的に再開します。
●充電中やリフレッシュ中は、充電器およびバッテリーが多少、熱くなりますが異常ではありません。

25 につづく

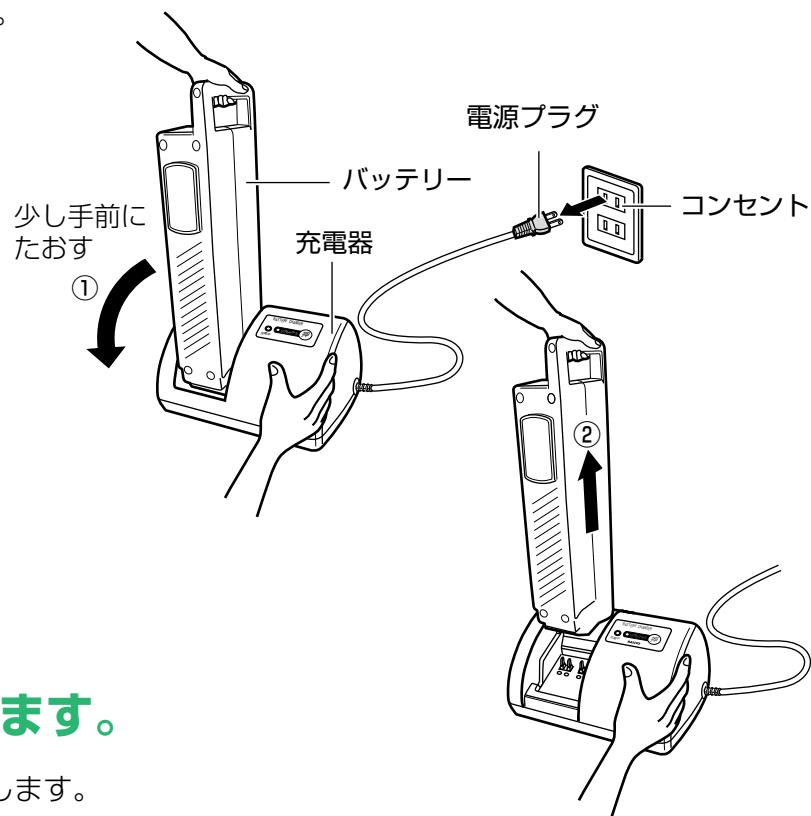
充電のしかた(つづき)

5 充電完了後、電源プラグを抜きます。

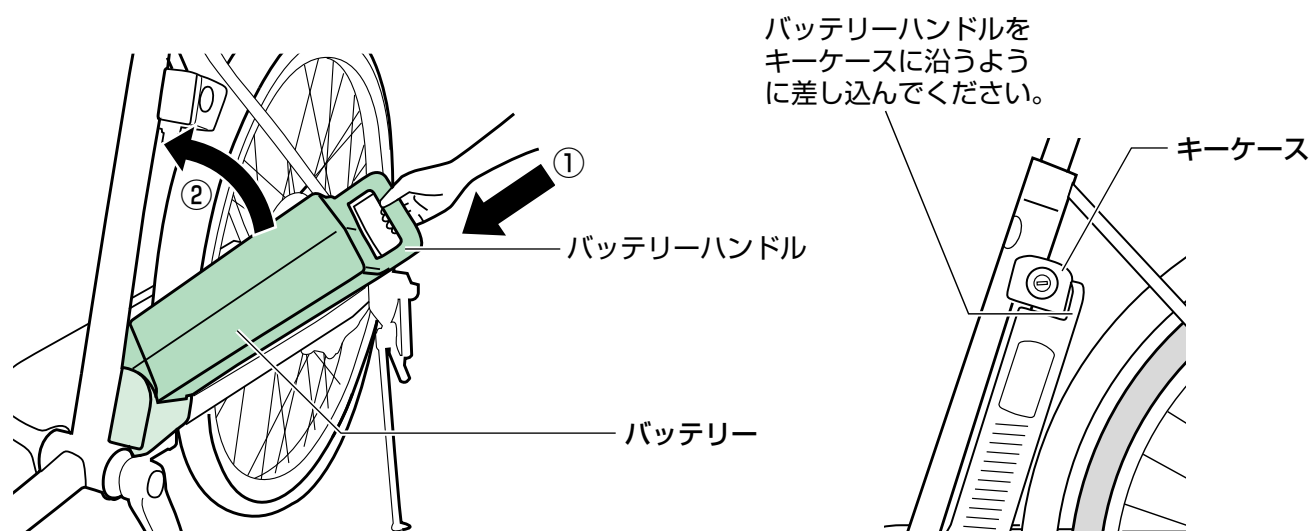
❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。

❷ 充電器を手でおさえながら右図の手順で充電器からバッテリーを取り外します。

⚠注意

バッテリーを充電器に取り付けたまま持ち上げない。
充電器がはずれて落下しケガをするおそれがあります。

6 バッテリーを取り付けます。

❶ バッテリー取付部に異物がないか確認します。
＊異物がある場合は取り除いてください。

❷ 下図の順番で取り付け「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

お願い 取り付け後は、バッテリーハンドルを持って外す方向に引っ張り、外れないことを確認してください。
バッテリーが確実に取り付けられていないと、落下するおそれがあります。

バッテリーについて

バッテリーは電動ハイブリッド自転車のペダルアシストをするうえで重要な部品です。
バッテリー（ニッケル水素電池）の特性を理解され正しくご使用ください。
落としたり、ぶつけたりしないでていねいに扱いましょう。

バッテリー（ニッケル水素電池）の特性について

●ニッケル水素電池は高性能充電式電池の一種で、充電と放電を繰り返し使用できるすぐれた電池です。
●ニッケル水素電池の特性を充分発揮させるため、できるだけ残量表示ランプが速い点滅になるまで使用してから充電してください。
●バッテリーの寿命は気温･使用状況･充電のしかたなどにより異なります。
充電回数の増加に伴い１回の充電容量が少なくなります。
●長期間使用せずに保管すると自己放電によりバッテリー残量が次第に少なくなります。

メモリー効果について

●継ぎ足し充電（バッテリー残量が残っている上から充電）を繰り返すとバッテリー残量が見かけ上低下する「メモリー効果」という現象が起こり、１充電当りの走行距離が短くなることがあります。「メモリー効果」の現象が起きた場合はリフレッシュ充電を行なってください。

バッテリーの交換の目安

バッテリーには寿命があります。

●バッテリー交換は有料です。
バッテリーの交換時期は、使用状況、充電のしかたなどにより異なりますが、リフレッシュ充電を行なっても、満充電後の走行距離が、新品時より、著しく短く（約半分以下）なったときが交換時期です。

バッテリーが寿命となりましたら、お近くの三洋電機商品販売店でお買い求めください。
品番：CY-PH31

●バッテリー交換時期の目安
バッテリー交換時期の目安として、約300～500回の充電／放電の繰り返しで交換時期に至る場合が多いですが、充電回数が300回未満の場合でも、ご使用や保管の条件等により、１～２年程度の使用期間で一回充電あたりの走行距離が著しく短く（新品時の約半分以下）になる場合があります。
※冬期はバッテリーの特性上、走行できる距離が短くなります。また、ペダルを強く踏み込む状態で走行する機会が多かったり、高温になる駐輪場でバッテリーを保管すると、通常より少ない充電回数や、短い期間でバッテリーが消耗し、寿命となる場合があります。
※バッテリーは消耗品です。｢バッテリー交換時期の目安｣と保証期間は関係ありません。

過放電(バッテリー残量が完全になくなった状態)したバッテリーについて

●長期間保管などして過放電したバッテリーは、劣化が進行しています。リフレッシュ充電を行っても新品時の容量まで回復しません。
●過放電を防止するため、長期間保管される場合は満充電にしてください。
また３ヵ月に一度満充電にして保管してください。

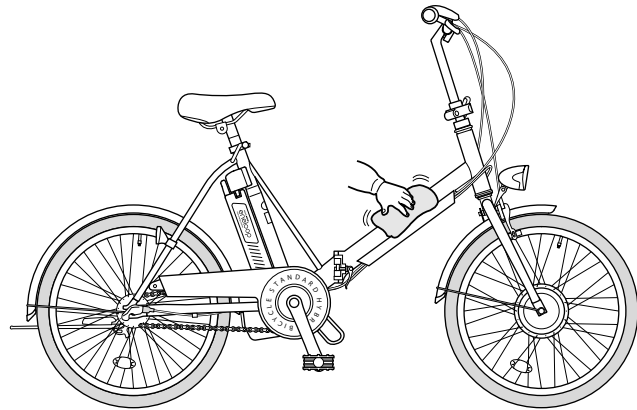
ニッケル水素電池のリサイクルについて

●この商品にはニッケル水素電池を使用しています。
ニッケル水素電池はリサイクル可能な、貴重な資源です。不用になったバッテリーは完全に放電（ペダルアシスト走行できなくなるまで)させてから､お買い上げの販売店または充電式電池リサイクル協力店にお持ちいただき、リサイクルにご協力ください。

弊社は有限責任中間法人 JBRCに参画し、リサイクルを実施しています。
使用済みの小形充電式電池のリサイクルにご協力ください。
http://www.jbrc.com

お手入れと保管

お手入れについて

・本体の汚れは水を含ませ、固くしぼったやわらかい布などできれいにふき取ってください。
・汚れのひどいときは、中性洗剤を浸した布でふき取り、乾いた布で洗剤が残らないようによくふき取ってください。

⚠警告

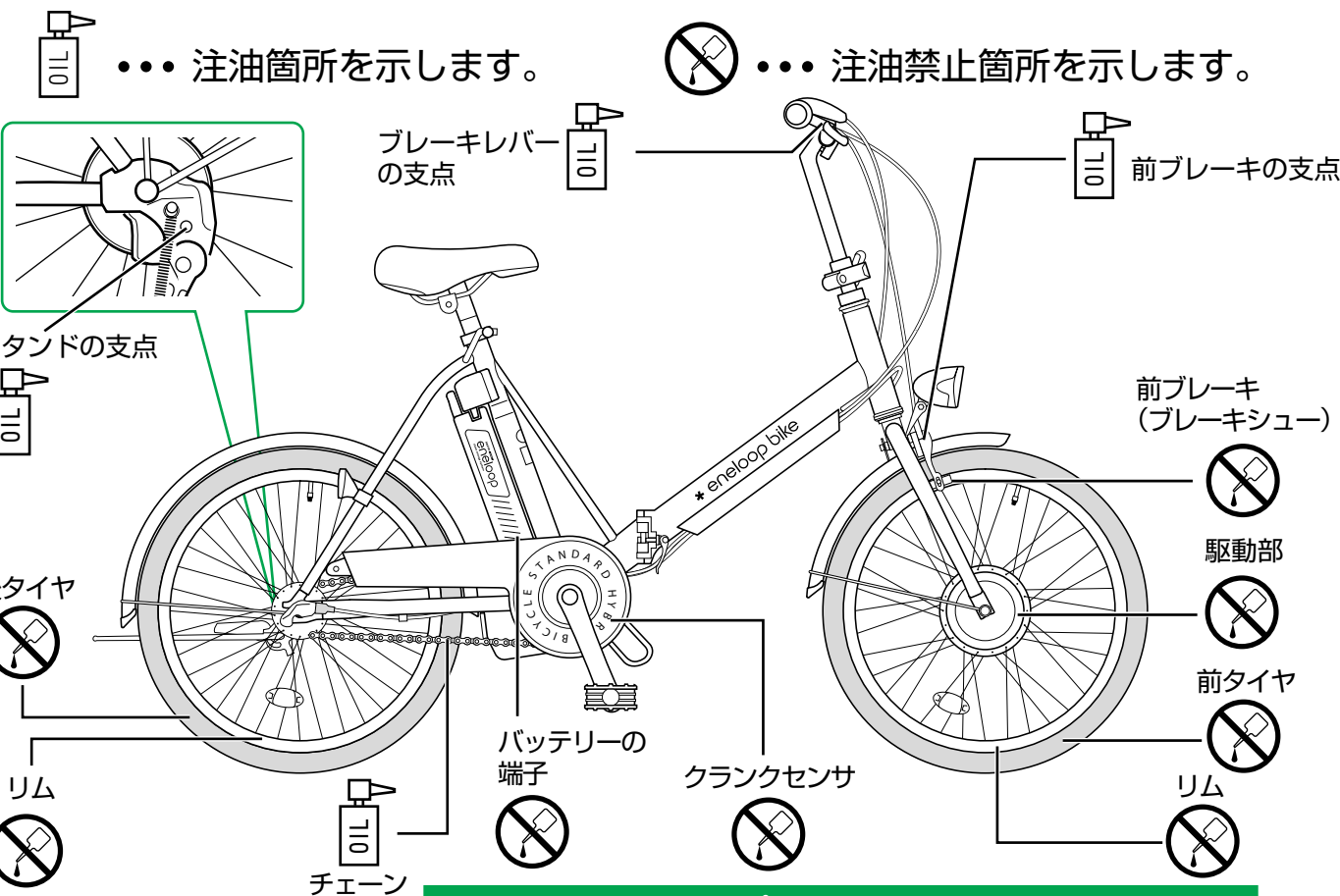
水洗いはしない。
浸水によって電気部品および配線の絶縁が劣化し、漏電など故障の原因になります。雨天走行で水にぬれたときは乾いた布で拭き取ってください。

お願い
シンナーやベンジン、みがき粉、アルカリ性洗剤、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。変色、傷、変形、ヒビ割れの原因になります。

アドバイス
- スポーク·ペダルシャフトなどのスチール部品は、布に防錆剤を吹きつけてふいてください。（リムはふかないでください。）
- フレームなどの金属塗装部は汚れをふき取ったあと、布に少量のワックスをつけてみがきます。

注油について

1カ月に1回指定の箇所に注油してください。

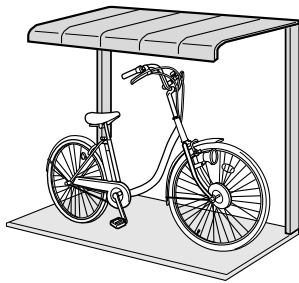
OIL ••• 注油箇所を示します。　　　••• 注油禁止箇所を示します。

お願い 潤滑油は自転車用を使用してください。

⚠注意

決められた箇所に少量の潤滑油を注油する。
多すぎるとホコリを付着させ、故障の原因になりますのでご注意ください。

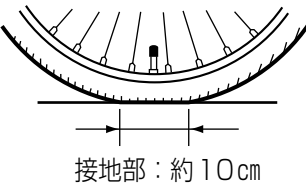
保管について

1 保管場所（下記の条件を満たすところ）を決めます。

- ●風通しがよく湿気の少ないところ
- ●平たんで安定のよいところ
- ●直射日光や雨つゆの当たらないところ

2 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。

お願い 雨ざらしになるところは避けて保管してください。

3 タイヤの空気が減っているときは、空気を入れます。

- タイヤに適正な空気がないまま保管するとタイヤの傷みの原因になります。
- 乗車したときの接地長さが約10cmとなるようにしてください。

標準空気圧
280kPa（2.8kgf/cm²）

タイヤ側面にも記載

4 鍵をかけます。

盗難防止のために必ず、鍵をかけてください。

お願い
- 自動車のトランクに乗せて運ぶときは、適切な緩衝材などをあてがってください。車体が上下に弾むと、部品が変形したり傷が入るおそれがあります。また、自動車にも傷が入るおそれがあります。
- 長期間（3カ月以上）保管されるときは、バッテリーを車体からはずし、満充電にして室内の涼しい所で保管してください。また、3ヵ月毎に充電し、再使用時はリフレッシュ充電をしてから使用してください。
- 自転車を廃棄するときは、各自治体の指示内容に従って処理してください。

故障かな？と思ったら

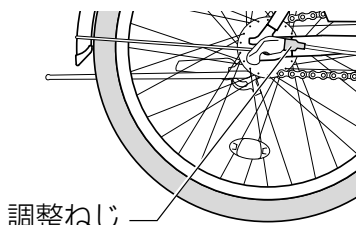
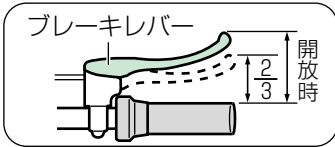
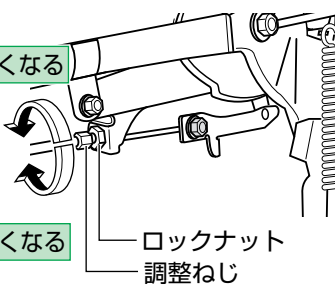
次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」（裏表紙）にご相談ください。

⚠警告

改造はしない。また、モーターユニット、クランクセンサの分解や注油もしない。
部品が損傷したり、外れて転倒によるけがのおそれがあります。修理や部品の組み付けは販売店にご相談ください。また、補助輪の取り付けを行わないでください。

＜自転車について＞

こんなとき	調べるところ	直しかた
ペダルが重い。	電源スイッチが「入」になっていますか。	電源スイッチを「入」にしてください。 17
	タイヤの空気が減っていませんか。	タイヤに空気を入れてください。 14
	タイヤがパンクしていませんか。	パンクはお買い上げの販売店または自転車店に修理を依頼してください。
電源スイッチを押しても残量表示ランプが点灯しない。	バッテリーが充電されていますか。	バッテリーを充電してください。 23 24
	バッテリーは確実に固定されていますか。	バッテリーの取り付け状態を確認してください。 25
走行できる距離が短い。	上り坂の連続走行や発進停止の繰り返しなど、高負荷運転をされていませんか。	走行条件によって、走行できる距離が短くなります。異常ではありません。 10
	タイヤの空気が減っていませんか。	タイヤに空気を入れてください。 14
	タイヤがパンクしていませんか。	パンクはお買い上げの販売店または自転車店に修理を依頼してください。
	月1回リフレッシュ充電をされていますか。	リフレッシュ充電をしてください。リフレッシュ充電をしても同じ症状のときはバッテリーの寿命が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。 23 24
	乗員及び荷物を合計した重さが重すぎませんか。	走行できる距離の目安は、乗員及び荷物を合計した重さが60kgでの数値です。 10
	周囲の温度が低くありませんか。	バッテリーの特性上、冬期など周囲の温度が低いと走行できる距離が短くなります。
	長期間保管されていませんでしたか。	バッテリーは自己放電しますので長期間保管するとバッテリー残量が減ります。
	前照灯を点灯されていますか。	前照灯を点灯した場合、走行できる距離が短くなります。異常ではありません。
バッテリーの取り付けができない。	バッテリー取付部などにゴミなどの異物はありませんか。	異物などを取り除いてから、バッテリーを取り付けてください。

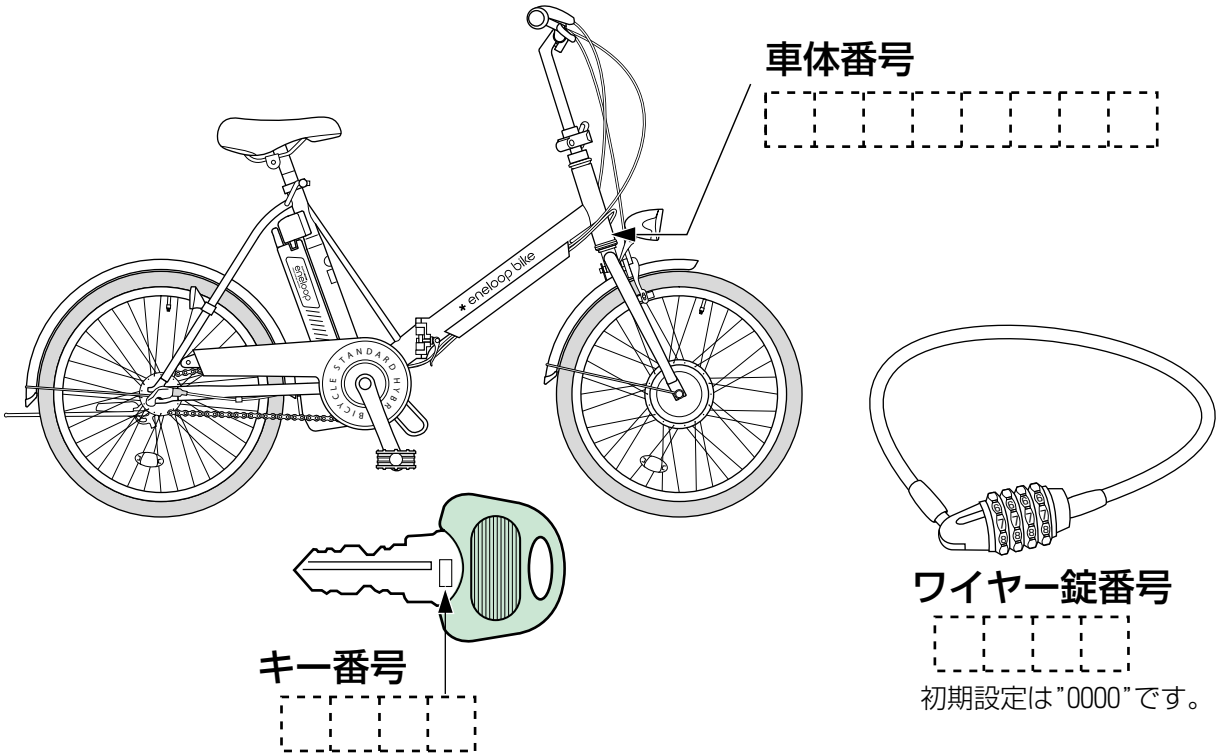
こんなとき	調べるところ	直しかた
変速できなかったり、ガタガタ音がする。	変速機の調整ねじを回されませんでしたか。（図：調整ねじ）	お買い上げの販売店にご相談ください。
残量表示ランプが2つ又は3つが同時に点滅する。又は右側の1つが点滅する。	バッテリー端子部の接触不良やペダルアシストシステムの異常が考えられます。 右側1つ点滅の場合、ペダルを踏みながら電源スイッチを入れていませんか。 ペダルを踏まずに電源スイッチを入れ直してください。	数回バッテリーを着脱してください。それでも直らなければ、電源スイッチを「切」にしてバッテリーを取り外し、通常の自転車走行をしてください。その後、お買い上げの販売店にご相談ください。
前輪を手で回すとすぐに回転が止まる。	――――	構造上の特性で正常です。
押し歩きのとき、前輪より振動がある場合がある。	――――	走行して感じない程度であれば正常です。走行中でも振動が大きい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	直しかた
ブレーキの効きが悪くなった。	❶ロックナットをスパナなどでゆるめます。 ❷調整ネジを回しブレーキレバーが開放時の2/3の位置で効き始めるように調整します。 ❸ロックナットをスパナなどで締め付けます。 上記の調整を行なっても、ブレーキの効きが悪い場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら（つづき）

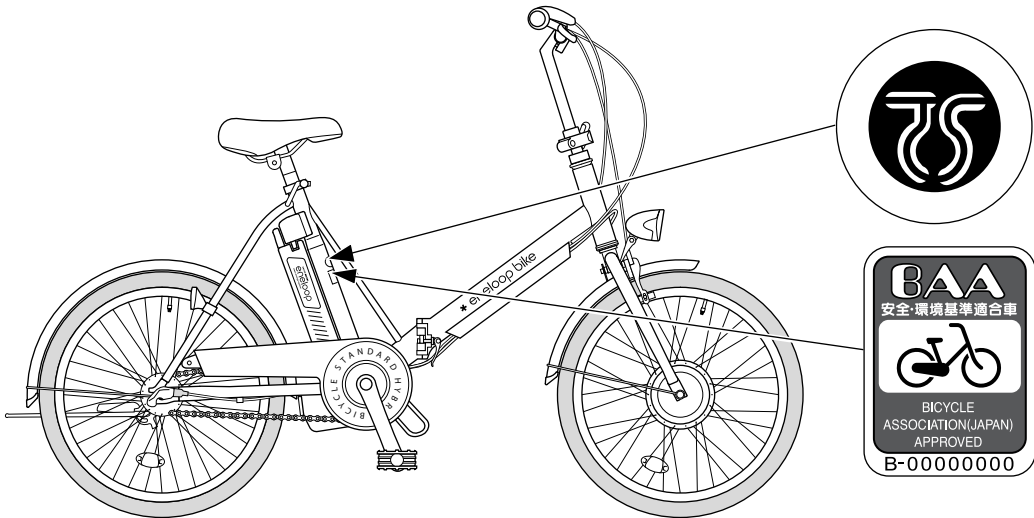
＜充電器、バッテリーについて＞

こんなとき		調べるところ	直しかた
充電できない	充電器の赤または緑ランプ（リフレッシュボタンを押したとき）が点灯しない。	電源プラグはしっかりと差し込まれていますか。バッテリーと充電器は確実に接続されていますか。	電源プラグをしっかりと差し込み、充電器にバッテリーを確実に接続してください。 23
	充電器の赤または緑ランプ（リフレッシュボタンを押したとき）が遅い点滅※1をしている。	充電直後ではありませんか。	充電後すぐに充電しようとしても、充電しないことがあります。 満充電からの追加の充電はしないでください。 温度が下がってくると充電を開始します。
		周囲温度の高いところ（40℃以上）あるいは低いところ（0℃以下）で充電されていませんか。	バッテリーの内部温度が高いと、充電しないことがあります。 涼しいところで充電してください。 温度が下がってくると充電を開始します。 温度が低い場合は、室内など暖かいところで充電してください。
		走行直後ではありませんか。	走行直後でバッテリーの内部温度が高いと、充電しないことがあります。 温度が下がってくると充電を開始します。
		バッテリーと充電器は確実に接続されていますか。	充電器の差し込み不足の可能性があります。充電器にバッテリーを確実に接続してください。 23
	充電器の赤と緑ランプが速い点滅※2をしている。	――――	**充電器の異常です。** 充電を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
	充電器の赤ランプが速い点滅※2をしている。	バッテリーと充電器は確実に接続されていますか。	充電器の差し込み不足の可能性があります。充電器にバッテリーを確実に接続してください。 23 確実に接続しても速い点滅をするときは**バッテリーの異常です。** 充電を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
充電中、異常を感じたら。（異音、異臭、煙が出るなど）		――――	電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。
充電器やバッテリーが熱くなる。		手で触れられないくらい熱いですか。	充電中やリフレッシュ中は多少、熱く（40℃～60℃）なりますが故障ではありません。**手で触れられないほど熱いときは異常です。**電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

＊充電器のランプの点滅　※1 **遅い点滅**：約0.5秒点灯、約1秒消灯　※2 **速い点滅**：約0.2秒点灯、約0.2秒消灯

防犯登録について

- 防犯登録は、法律で義務付けられていますので、お買い上げの販売店または、自転車防犯登録所の看板のある自転車店にご相談ください。登録には車体番号が必要です。
- 盗難にあった場合に捜す手掛かりになりますので、車体番号を本書に記入しておいてください。また、キーを紛失したときのために、キー番号も本書に記入しておいてください。

ＴＳマーク、ＢＡＡマークについて

- ＴＳマークは、道路交通法に定める駆動補助機付自転車および普通自転車の基準に適合し、国家公安委員会の型式認定を受けた自転車に貼付するものです。貼付されたＴＳマークをはがさないでください。
- ＢＡＡマークは、消費者の安全を第一に考え、さらに環境負荷物質の使用を制限する「自転車安全基準」を業界自主基準として制定し、同基準に適合した自転車に貼付するものです。貼付されたＢＡＡマークをはがさないでください。

仕　様

■取扱説明書、本体、保証書には商品の色記号を省略しています。
■包装箱に表示している（　）内の記号が色記号です。

品　番		CY-SPJ220		
寸　法	全　長	1,550mm	折りたたんだ状態	
	全　幅	580mm	全長	835mm
	サドルの高さ	780〜960mm	全幅	520mm
	軸間距離	1,040mm	全高	730mm
タイヤサイズ		20×1.5HE		
質　量		18.5kg		
1回の充電で走行できる距離※（10ページ参照）	市街地走行パターン	約16km（ブレーキ充電 無）		
	業界統一パターン	約28km（ブレーキ充電 無）		
	「オート」での走行パターン	約46km		
変速機形式		内装3段式		
前照灯		LEDライト		
フレーム		H形折りたたみフレーム		
スタンド		片脚スタンド		
ハンドル		オールラウンダー		
錠前		ワイヤー錠		
比例補助		0km/h以上〜10km/h未満		
逓減（ていげん）補助		10km/h以上〜24km/h未満		
モーター		形　式：直流ブラシレス式　定格出力：250W		
補助力制御方式		PWM制御方式		
動力伝達方式		ダイレクトドライブ方式		
ブレーキ形式		前　輪：キャリパーブレーキ（デュアルピボット式）　後　輪：ローラーブレーキ		
バッテリー	品　番	CY−PH31		
		種　類：ニッケル水素（円筒密閉形）　容　量：DC24V−3.1Ah		
充　電　器	品　番	CY−PAA4		
	形　式	スイッチングレギュレータ方式		
	充　電	充電時間：約2時間15分　消費電力：約57W		
	リフレッシュ	リフレッシュ時間：最長約11時間　消費電力：約2W		
	待機電力	約2W		

※1回の充電で走行できる距離は、バッテリー新品、アシストモード「標準」、温度20℃、無風状態、前照灯消灯、車載質量60kg（乗員および荷物を合計した質量）、標準空気圧で走行したときの距離を示します。
■品質・性能の向上およびその他の事情により、予告なく仕様変更を行なう場合があります。
■寸法や質量等の値は、部品のばらつきや仕様変更により、3%程度の誤差が生じる場合がありますことをご了承願います。

定期点検・整備チェックリスト

■1回目（2カ月以内）の点検、整備
●お買い上げ2カ月位のご使用で、各部のねじがゆるむことがあります。点検を行ない異常のある場合は販売店にご相談ください。

■2回目以降の点検、整備
●末永くご愛用していただくため、お買い上げ後６カ月毎の定期点検、整備を継続してください。

■点検、整備は有料です。販売店にご相談ください。

⚠警告
ブレーキワイヤーは異常がなくても2年に1回は交換する。

√：異常なし　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他

点検箇所	点検項目	1回目 2カ月	2回目 6カ月	3回目 1年	4回目 1年半	5回目 2年	6回目 2年半	7回目 3年
フレーム・前フォーク	変形、ガタつき、折損、ヒビ割れはないか							
本体ジョイント	変形、ガタつき、折損、ヒビ割れはないか							
ハンドルジョイント	変形、ガタつき、折損、ヒビ割れはないか							
ハンドル	取り付け状態、回転具合は適正か							
	変形、ガタつき、損傷はないか							
どろよけ	変形、ガタつきはないか							
タイヤ	空気圧は適正か、摩耗、損傷はないか							
リム	変形、振れはないか							
スポーク	ゆるみ、折れ曲がりはないか							
ハブ（車軸）	ハブナットのゆるみはないか							
クランク	ギヤ板の振れ、ヒビ割れ、変形、ガタつきはないか、締め付けは充分か							
ペダル	変形、ねじのゆるみ、回転は正常か							
ブレーキ	レバーの握りしろは適正か、ヒビ割れ、変形、ガタつきはないか ワイヤー類にサビやほつれはないか							
	前ブレーキのブレーキシューの減りはないか							
	後ブレーキの異常音、振動、ひきずりはないか							
チェーン	たるみ具合、ギヤとのかみ合わせは適正か							
サドル	取り付け位置、固定は適正か、損傷はないか							
変速機	正常に操作できるか、ガタつきはないか							
前照灯	点灯、照射角度は正常か、ガタつき、損傷はないか							
リヤリフレクタ	角度は適正か、汚れ、ガタつき、損傷はないか							
ホイールリフレクタ	汚れ、損傷はないか							
スタンド	作動は正常か、変形、ガタつき、折損はないか							
ベル	鳴り具合、変形、ガタつきはないか							
注油箇所	チェーン、ブレーキレバーの支点、前ブレーキの支点、スタンドの支点							
その他	各部のねじのゆるみ、損傷はないか							
	ペダルアシストシステムの作動							
	各部の取り付け状態と作動							
	電気配線の接続部のゆるみと損傷							
	カバー類、固定用ボルトのゆるみ							
	バッテリーの取り付け状態							

愛情点検　長年ご使用の電動ハイブリッド自転車の点検を！

こんな症状はありませんか
●スイッチを入れても、ときどき動作しないことがある。
●走行中、異常な振動や音がする。
●充電器のコードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。
●充電器やバッテリが変形していたり、異常に熱い。
●こげくさい臭いがする。

こんなときは

使用を中止してください。
事故の防止のため、電池を取り外し充電器の電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。